

## 【普通科】 2年次 【選択】科目 「日本史A」授業のシラバス

### 1 概要

教科名	地理歴史	科目名	日本史A	単位数(コマ数)	2(78)
科目の目標	① 資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題を歴史的観点から考える。 ② 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚や資質を養う。				
教科書(出版社)	高等学校 改訂版 日本史A(第一学習社)	副教材(出版社)	改訂版 日本史Aノート(第一学習社)		

### 2 学習の方法

#### (1) 予習について

事前に教科書を読んでおいたり、副教材の『日本史Aノート』の左側の空欄を埋めておくことをお勧めします。予習を通して、大枠をつかんでおくと思います。教科書を読むときも、5W1Hを意識して読むと、より理解が進みます。

#### (2) 授業について

復習との関係から必ずノートをつくる習慣を早期に身につけてください。小中学校までにノートをつくる習慣が身につけている人でもなかなか大変ですが、ノートをとりながら授業を聴くようにしてください。もちろん、教員が黒板に書く事柄(板書)だけではなく、教員が話したことで自分が「重要だな」と思ったことは積極的にメモをとりましょう。ノートの取り方、書き方全般は自由としますが、年度初めの授業において、ノートのとりかたなどのガイダンスをする予定ですので、参考にしてください。あと、授業中にプリントを配布しますので、プリントもノートに貼って下さい。

#### (3) 復習について

理想をいえば、その日学習したことはその日のうちに復習するということでしょう。しかし、国語、数学、英語など予習、復習をしなければならない科目がたくさんあります。地歴公民科では、一週間ごとにまとめて復習することを提案しています。日本史Aは2単位ですので、それを週末にノートにまとめたり、『日本史Aノート』にマーカーや補足を書いたりしておくことで、歴史の大枠から、歴史の流れや重要な言葉を理解して欲しいと考えています。特に将来受験科目に日本史を考える人は、日本史Bの副教材の該当箇所も学習することをお勧めします。

#### 〈学習アドバイス〉

ただ、ノートを作るだけでなく、「自分が見て分かる」ノートを作ってください。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	我が国の近現代史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について、意欲的に取り組むことができる。
② 思考・判断・表現	我が国の近現代史から課題を見出し、世界史的視野にたって多面的に考察できる。
③ 資料活用・技能	資料や情報を効果的に活用・選択することができる。
④ 知識・理解	我が国の近代史についての基本的な知識を、地理的条件や世界の同時期の歴史と関連づけながら理解することができる

#### (2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		定期考査・単元テスト	小テスト	ノート	ワーク	ワークシート
		割合					
① 関心・意欲・態度	25%	○	教科書教材の知識等に関する問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど	○	○	○	○
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
③ 資料活用・技能	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
④ 知識・理解	25%	○	教科書教材の知識等に関する問題など				

#### 〈担当者からのメッセージ〉

授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「日本史A」 授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せまってくる外国船</li> <li>・ちからを蓄える庶民</li> <li>・近代思想のいびき</li> <li>・揺らく幕藩体制</li> </ul>	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ諸外国は開国を迫ったか、また、江戸幕府はどのようにして防ごうとしたかを理解できる。</li> <li>・江戸後期の思想・経済・社会の変化を理解できる。</li> </ul>	前期中間考查
	第1節 近代への胎動			④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリー来航とその背景にある国際関係を考察できる。</li> <li>・開国による混乱の原因を資料から読み取ることができる。</li> </ul>	
5	第2節 開国と幕末の動乱	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒船がやってきた</li> <li>・志士たちの時代</li> <li>・手を結ぶ薩長</li> <li>・近代との出会い</li> <li>・江戸幕府が終わり新政府へ</li> </ul>	② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府の諸改革やその目的、諸改革に対する民衆の不満を資料から読み取ることができる。</li> <li>・幕末から明治初期の日本の置かれた状況の大枠を理解し、探求し、まとめることができる。</li> </ul>	
6	第3節 近代国家の形成	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸が東京になった</li> <li>・天皇の軍隊がつくられた</li> <li>・スローガンは「富国強兵」</li> <li>・欧米文化がはいてきた</li> <li>・日本の国境が定まった</li> <li>・爆発する農民や士族の不満</li> <li>・国会開設が決まった</li> <li>・地主制が進行した</li> <li>・立憲政治がはじまった</li> <li>・国会がはじめて開かれた</li> </ul>	③ ② ③		
7	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米と肩を並べる国を目指して</li> <li>・清国との対立が深まった</li> <li>・ロシアとの戦争がおこった</li> <li>・アジアへの勢力拡大がはじまる</li> </ul>	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義政策を推進する明治期日本の歴史を正しく理解し、その過程での 国内政治の流れや、経済や社会思想の変化について理解出来る。</li> </ul>	
8		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の生活が圧迫される</li> <li>・綿糸と生糸を支えた産業革命</li> <li>・欧米の資本主義に仲間入りした</li> <li>・貧富の差が広がった</li> <li>・国家主義が台頭する</li> <li>・民衆が政治を動かす始めた</li> </ul>			
9	第2章 両大戦をめぐる国際情勢	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の世界大戦に日本も参戦した</li> <li>・成金の時代がやってきた</li> <li>・朝鮮・中国の民衆が立ち上がった</li> <li>・日本は欧米に歩調をあわせた「平民宰相」が登場した</li> <li>・抑圧からの解放を求めて</li> </ul>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本がなぜ第一次世界大戦に参戦したか、欧米列強との関係を踏まえて考察することができる。</li> <li>・大正期における国内の政治や社会について、大正デモクラシーの進展と関連づけて理解し、現代の民主政治へ関心を高めることができる。</li> </ul>	前期期末考查
後期 10	第1節 第一次世界大戦と日本	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐慌の嵐が吹きあれる</li> <li>・日本の外交が行き詰まる</li> <li>・軍部の暴走がはじまった</li> <li>・中国との長い闘いがはじまった</li> <li>・戦争の影が文化にも及ぶ</li> <li>・すべてが戦争に協力させられた</li> <li>・アメリカとの戦争がはじまった</li> </ul>	① ④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・度重なる「恐慌」に対して、「持たざる国」日本がどのような対応をとったか、他国の動向と関連づけながら理解することができる。</li> <li>・日中戦争の流れとそれによる銃後の生活の変化を理解し、大国の利害や戦争行為の持つ意味を考察できる。</li> <li>・日清戦争から太平洋戦争終戦までの日本が置かれた状況の大枠について資料を活用して探求し、まとめることができる。</li> </ul>	後期中間考查
11	第2節 第二次世界大戦と日本	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争が拡大する</li> <li>・アジア・太平洋の諸民族にかかわった</li> <li>・戦争が終わった</li> </ul>	② ③		
12	第3章 現代の日本と世界	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領軍がやってきた</li> <li>・日本が生まれ変わる</li> <li>・新しい国のしくみ</li> <li>・飢えとのたたかい</li> <li>・飢えの中でも開放感があつた</li> <li>・民主化から経済復興へ</li> <li>・復興への転機到来</li> <li>・複雑な環境の中での独立</li> </ul>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の占領下の中で、民主主義がいかに国内で確立していったか、諸外国との関連づけて関心を高めることができる。</li> </ul>	後期期末考查
1	第1節 日本の再出発	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和への願いが叫ばれた</li> <li>・保守と革新の正面衝突</li> <li>・奇跡の経済成長がはじまった</li> <li>・奇跡の経済成長の影</li> <li>・あらたな戦争にまきこまれた</li> <li>・豊かさの中流意識</li> </ul>	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本を基礎づけた高度経済成長の流れを、景気動向や産業構造の変化と結びつけて理解することができる。</li> </ul>	
2	第2節 独立後の政治と経済の発展	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのショック</li> <li>・経済大国が誕生した</li> <li>・消費はファッションになった</li> <li>・パブルはこうしてぶくらんだ</li> <li>・大きな歴史の転換をむかえた</li> <li>・政局と経済が混迷する</li> <li>・これからの日本について考えよう</li> <li>・時代の転換点に立つて</li> </ul>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後日本の歩んできた歴史の大枠を理解し自分なりに探求しまとめることができる。</li> </ul>	
3	第3節 現代の日本と世界	4				
		78				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用の技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。